

第二十回 貴族院議事速記録第五號

明治三十七年三月二十九日(火曜日)

午前十時十九分開議

議事日程 第五號 明治三十七年三月二十九日

午前十時開議

- 第一 臨時軍事費豫算案(政府提出案)
會議(豫算委員)
長報告
- 第二 明治三十七年度歳入歳出總豫算追加案(政府提出案)
會議(豫算委員)
長報告
- 第三 明治三十七年度特別會計歳入歳出豫算追加案(政府提出案)
會議(豫算委員)
長報告
- 第四 貯蓄勸業債券法案(政府提出案)
第一讀會ノ續(特別委員)
長報告

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ報告ヲ致サセマス

〔小原書記官朗讀〕

昨二十八日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日内閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

非常特別稅法案

醫藥用工業用酒精稅法中改正法律案

明治三十四年法律第十號中改正法律案

沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案

醬油稅則中改正法律案

自家用醬油稅法中改正法律案

關稅定率法附屬輸入稅表中改正法律案

輸入原料砂糖稅法中改正法律案

間接國稅犯則者處分法中改正法律案

地租徵收ニ關スル法律案

沖繩縣滯納舊租延納法案

渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律案

煙草專賣法案

軍人恩給法中改正法律案

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ議事日程ニ移リマス、諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、第一、第二、第三ノ議事日程ノ豫算案、豫算追加案ハ東ネテ豫算委員長ノ報告デ宜カラウカト思ヒマスガ……

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ガ無ケレバ左様イタシマス、正親町伯爵〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ載録ス〕

一 臨時軍事費豫算案

一 明治三十七年度歳入歳出總豫算追加案

一 明治三十七年度特別會計歳入歳出豫算追加案

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審查シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十七年三月二十八日

豫算委員長

伯爵正親町 實正

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵正親町實正君演壇ニ登ル〕

○伯爵正親町實正君 委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報道申上ゲマス、此度政府ヨリ軍事費トシテ要求サレマシタル所ノ高ハ三億八千萬圓デゴザイマス、是ニ尙ホ臨時事件費豫備費トシマシテ四千萬圓、合計四億二千萬圓デアリマス、此外ニ今日マデ勅裁濟支出額ト致シマシテ一億五千六百萬圓、是ハ先日當議場ニ於テ諸君ガ承諾ヲ與ヘラレマシタ高デゴザイマシテ、總計五億七千六百萬圓ガ此度ノ軍事費トシテ要求サレタ高デゴザイマス、ソレデ此事變ノ財源ト致シマシテハ六千二百萬圓ガ増稅收入、是ハ昨日御決議ニナリマシタ非常特別稅法案ノ各稅目ノ増額ニナリマシタアレノ總高デゴザイマス、ソレカラ四千八百萬圓ガ歲計剩餘金、五千四百萬圓ガ特別會計資金ノ繰替、四億二千百萬圓ガ公債及一時借入金、之ヲ合計イタシマスレバ即チ五億七千六百萬圓トナリマス、ソレカラ是ハ既往ノ高モ加ヘマシタ總高デアリマスガ、今度此豫算案ヲ以テ要求サレマシタル所ノ三億八千萬圓ニ對シマシテ、是ノ財源ト申スコトニナリマス、此豫算ニモゴザイマスル通り七千萬圓ガ一般會計繰入金ニ

ナリマス、是ノ内譯ヲ申シマスレバ六千二百萬圓ガ増稅收入、八百萬圓ガ歲計ノ剩餘、此外三三萬圓ガ特別會計資金ノ繰替、二億八千萬圓ガ公債及一時借入金、此二億八千萬圓ト申シマスノハ既ニ先日はモ當議場ニ於テ御議決ニナリマシタ臨時事件費支辨ニ關スル法律案、アノ中ニ記載シタ所ノ二億八千萬圓ニ當リマス、勿論是ハ此間諸君ノ御手許ニモゴザイマスル政府ヨリ豫算案ノ修正案トシテ提出サレタ斯ウ云フ案ガゴザイマセウ、此修正額ニ付テ申上デマシタコトデゴザイマスガ、尙ホ元ノ原案トハ多少ノ差ハ生ジテ居リマス、詰リ此ノ修正ハ先達テ非常特別稅法案ノ各稅目ニ付キマシテ衆議院デ多少ノ修正ガゴザイマス、修正ノ結果トシテ金額ノ上ニ多少ノ増減ヲ來シマシタ譯デゴザイマスカラ、其大體ノコトニ付キマシテハ昨日非常特別稅法案ノ委員長ヨリ委細御述ベニナリマシタカラ諸君モ御了承ノコトト考ヘマス、尙ホ其細目ニ至リマシテ原案トノ差ハ、此修正案ト原案トヲ御對照ニナリマシタ御分リニナリマセウト考ヘマスカラ、一々申上デマスルノ煩チ省キマス、先ヅ豫算ノ大體ハ右ニ申上デマシタ通りデゴザイマス、是ニ付キマシテ種々審議ヲ盡シマシタ、審査中ニ委員ノ請求ニ依リマシテ一時速記ヲ止メマシテ種々質問モゴザイマシタ、是ニ對シマシテハ總理大臣、海軍大臣、大藏省ノ政府委員等ヨリ細密ナル答辯モゴザイマシテ、委細事情モ能ク分リマシタヤウナ事デゴザイマシテ、尙ホ委員ノ御一人ヨリシテハ此度時局斯ク相成ル上ハドウモ已ムヲ得ヌコトデアル、併シ此度ノ軍事費ト云フモノハ實ニ未嘗有ノ巨額デアルガ、事此ニ至ッテハ已ムヲ得ヌコトデアル、ノミナラズ將來政局ノ進行如何ニ依ッテハ尙ホ益々巨額ノ額ヲ要スルコトガアルカモ知ラヌ、故ニ當幕ノ議會ニ至ッテハ尙ホ一層巨額ノ要求ガアルト云フコトハ豫テ覺悟ヲ致シテ居ラナケレバナラヌ、故ニ今日ヨリシテ官民トモ大ニ節約ヲ旨トシテ謂ハユル臥薪嘗膽ノ考ヲ以テ、將來此事ニ當ッテ如何ナル艱難ノ時局ニ際會スルトモ屈セズ撓マズシテ最後ノ勝利ヲ制スルコト云フ所マデハ、國民トシテハ飽クマデ覺悟ヲセネバナラヌコトデアルト云フヤウナ論モゴザイマシタ、而シテ結局採決ニ及ビマシタ所ガ此度政府ヨリ軍事費トシテ提出サレタ此三案ニ於キマシテハ一人ノ異議ナク全會一致ヲ以テ可決イタシマシタコトデゴザイマス、ドウゾ諸君ニ於キマシテモ何卒滿場一致ヲ以テ御贊成アラムコトヲ希望シマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質問並ニ御發議ガゴザイマセネバ議事日程

ノ第一ノ可否ヲ採決イタサウト存ジマス、議事日程第一ノ臨時軍事費豫算案、是ハ東ネテ問題ニ致シマシテ、歳入、歳出モ別ニ分ケマセヌデ、全部ノ問題ニ供シマス……全部御異議ナイモノト見テ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ可決セラレマシタ、次ハ第二、明治三十七年度歳入歳出總豫算追加案、是モ全部御異存ナイモノト見テ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ可決セラレマシタ、次ハ第三、明治三十七年度特別會計歳入歳出豫算追加案、是モ御異存ナイモノト見テ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ可決セラレマシタ、次ハ第四、貯蓄勸業債券法案第一讀會ノ續、特別委員長報告

貯蓄勸業債券法案

右否決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十七年三月二十七日

右特別委員長

侯爵西園寺公望

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵長岡護美君演壇ニ登ル〕

○子爵長岡護美君 諸君、此案ハ本日ハ委員長ノ西園寺侯爵ガ不幸ニシテ所勞デアリマスカラ、私代ッテ諸君ニ委員會ノ大要ノ御報告ヲ致シマス、此案ハ委員會ニ於キマシテハ十三人ノ出席デアリマシテ、反對者ガ十人、贊成者ガ三人デ否決ニナッタ次第デアリマス、内閣委員ノ委シキ説明モアリマシタシ、又本員等モ十分ニ質問ヲ致シマシテ反覆討議ヲ致シタ次第デアリマスガ、遂ニ此案ノ不幸ナル結果ニ至ッタ次第デアリマス、抑此反對者ノ言フ所カラ申シテ見マスルト、國家多事ノ際、殊ニ此軍事ト云フモノハ非常ナル場合デアリマスカラ是ニ就テハ贊成ヲ表シタイノデアリマスガ、併ナガラ何分此案ニ於テハ將來ニ向ッテ經濟的ニ非常ナル不都合ヲ來スデアラウ、又僥倖心ヲ社會

ニ自然ニ増長セシメルヤウナ勢ニナッテ折角是マデ勸業ノ爲ニ設ケタル所ノ
債券モ空シク此度ノ債券ノ爲ニ其目的ヲ達スルコトが出来ナイト云フヤウナ
結果ニナラウト云フヤウナコトカラシテ、大分ムツカシキ議論ガアッタノデア
リマス、併ナガラ大要ハ先ヅ其理由ガ元ニナッテアルコトデアリマス、又賛成
者ノ方モ決シテ此案ヲ完全ナル案トハ誰モ認メテハ居リマセヌ、平時的ノ觀
念カラ申セバ此案ハ固ヨリ否決スベキモノデアリマスガ、併ナガラ戰時的ニ
於テハ是モ已ムヲ得ザルモノト考ヘマス、殊ニ當局者ノ話ヲ聞キマスト大藏
省ノ預金局デ即チ預カル譯ノ資本デアリマシテ、成ルホド細民ノ資本デアリ
マスカラ、僅ニ衆議院ノ修正デ決定シタル如ク五圓クヲキノ資金デアリマス
カラ、是ハ普通ノ切手ノ如ク流通スルトキハ是ハ非常ナ害ヲ來シマセウガ、併
ナガラ預金局デ發行スル所ノ債券デ即チ其資本ハ預金局デ預ッテ居ルコトデ
アリマスカラ、先ヅ非常ナル危險ト云フヤウナコトニハナルマイト云フヤウ
ナ考モアリマス、殊ニ平和的ノ時ト違ウテ今日ニ至ッテハ成ルホド近來ハ海
軍ガ打續イテ戰捷ノ報告ガアルヤウナ譯デ、何トナク露國ニ對シテハ易ク勝
タレルヤウナ考ヲ持ツヤウデアリマスケレドモ、是カラ段々西比利亞地方ニ
進軍シテ參ル日ニナルト、中々區域ノ廣キ戰爭ノ場所デアリマスカラ、此末
ハ中々軍事ノコトハ非常ニ困難ヲ感ズルデアリマセウ、斯ノ如キコトハ成ル
タケ如何様ナ方法ヲ取ッテモドウカ此目的ヲ達セネバナラヌ、事即チ國家ノ
存亡モ是ニ依テ生ズルデアラウト思フ、之ガ爲ニ本員モ已ムヲ得ズ賛成シタ
次第デアリマシテ、私ト同感デ賛成シタ諸君モ必ズ此感同ジウシタノデア
リマセウ、非常ナ今日ノ時勢デアリマスカラ平時的ノ觀念トマルデ換ヘナケ
レバナラヌト本員等ハ考ヘルノデアリマス、サウ云フ様ナ譯デ本員等モ已ム
ヲ得ズ賛成シタ譯デアリマス、此事タルヤ大分手續上ノ事トカ或ハ此債券發
行ノ種々ノ事ヲ委シク本員ガ申上ゲヌデモ、モウ既ニ速記録等デ委員會ノ事
モ御分リニナッテ居リマセウシ、又政府委員ノ説明ノ次第モ明瞭ニ諸君ハ御
分リニナッテ居ルト考ヘマスカラ、本員ハ先ヅ此大要ヲ御話申スコトニ止メ
テ置カウト思ヒマス、議事ノ進行モ其方ガ却ッテ宜カラウト考ヘマスキ、又是
ニ付テハ修正案モ出テ居ルコトデアリマスカラ、何卒ドウゾ國家ノ緊要ノ場
合デアリマスカラ、ドウカ諸君モ之ヲ二讀會ニ移サレテ此議場デ十分御討議
アラムコトヲ希望イタシマス、又是ニ付テハ私が手續上ノコトナドヲ却ッテ申
上ゲルヨリモ當局者カラ明ニ申上ゲタ方ガ本員ガ申上ゲルヨリモ誤解モ無ク

又諸君ガ明瞭ニ御分リニナラウト考ヘマスカラ、本員ハ先ヅ是ダケデ大體ニ
止メテ置キマシテ、態ト御質問ニ對シテハ御答辯ハ致サヌ積リデアリマス、ド
ウカ諸君宜シク、是ダケノ事ヲ申上ゲテ置キマス

〔國務大臣伯爵桂太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣伯爵桂太郎君 唯今委員長カラ御報告ニナリマシタ此勸業貯蓄
債券法案ノ否決、委員會ニ於キマシテハ否決ニナリマシタト云フ御報告デゴ
ザイマシタカラ、本官ハ玆ニ於キマシテ一言諸君ニ所感ヲ申上ゲテ置カウト
思ヒマス、此法案ハ戰時財政ノ上ニ付キマシテ容易ナラヌ關係ヲ有ッテ居ル
所ノ法案デゴザイマスカラ、諸君ニ於カレマシテモガ、慎重ニ御考慮下サッデ
此案ヲ此審議アラムコトヲ偏ニ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發議ガゴザイマセネバ、唯今長岡副委員長
ヨリ申述ベラレマシタ通り修正案ガ出テ居リマス、諸君ノ御手許ニ同ッテ居ル
ダラウト存ジマス、其修正案ニハ定規ノ賛成者ガゴザイマスカラ、此法案ヲ
二讀會ニ移スベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起
立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○男爵小澤武雄君 二讀會ニ……

○議長(公爵德川家達君) チョットモウ一遍願ヒマス

○藤田四郎君 直チニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 讀會間ノ日數ノコトハ前ニ諸君ノ御承認ヲ得テ居
ルト存ジマスカラ、別段御諮リ申スニ及バナト存ジマス、是ヨリ二讀會ヲ開
キマス

○男爵小澤武雄君 此修正案ノ説明ヲ致シタイノデゴザイマスガ……

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

〔左ノ修正案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ載録ス〕

貯蓄勸業債券法案修正案

發議者

子爵三島彌太郎
男爵小澤武雄

男爵有地品之允

小松原英太郎

藤田 四郎

貯蓄債券法

第一條 政府ハ日本勸業銀行ヲシテ當分ノ内貯蓄債券ヲ發行セシムルコトヲ得

第二條 貯蓄債券ハ無記名利札附ニシテ券面金額ヲ五圓トス

第三條 貯蓄債券ハ發行ノ翌年ヨリ二十箇年以内ニ毎年一回以上抽籤ヲ以テ之ヲ償還スヘシ

貯蓄債券ヲ償還スル場合ニハ割増金ヲ附與スルコトヲ得但シ割増額一箇ノ金額ハ券面金額ノ百倍以内トス

第四條 貯蓄債券ニ附スヘキ利子ノ割合ハ一箇年百分ノ四以内トシ毎年一回之ヲ仕拂フモノトス

第五條 貯蓄債券ニハ商法第百九十九條乃至第二百五條ヲ適用セス

第六條 貯蓄債券及其ノ引換證ニハ印紙稅ヲ免除ス

第七條 日本勸業銀行ハ貯蓄債券ノ募集金ヲ大藏省預金部ニ預入ルヘシ

第八條 貯蓄債券ニハ日本勸業銀行法第四十條及第四十一條ヲ準用ス

第九條 貯蓄債券ノ發行額ハ一箇年三千萬圓ヲ以テ限トス

附則

本法ハ明治三十七年八月一日ヨリ施行ス

本法ニ依ル債券ノ發行ハ非常特別稅法施行中ニ限ルモノトス

〔男爵小澤武雄君演壇ニ登ル〕

○男爵小澤武雄君 私ハ此貯蓄債券法ノ修正案ノ提出者ノ一人トシテ大體ニ於テ修正ノ主意ヲ説明イタシマス、「貯蓄勸業債券法」トアルノチ「貯蓄債券法」ト改メタイノデ、是ハ別ニ主意ニ於テ變更スルト云フコトデハアリマセヌケレドモ此貯蓄債券法ノ實質ガ直ニ勸業ト云フコトニ格別ナ關係ヲ持タナイノデアアルカラ單ニ貯蓄債券法トナッタ方ガ宜カラウト云フ考デアリマス、ソレカラ第一條ノ修正ハ是ハ勸業銀行デ致スノデアリマスケレドモ、政府ガ勸業銀行ニ命ジテ發行サセルノデアアルカラ此法案ノ通りナッタ方ガ宜カラウト云フノデアリマス……チヨット前ニ申スコトヲ失念シシマシタカラ御斷リ申シテ置キマスガ、此中ニ正誤ガゴザイマスノデ、ドウゾソレヲ御承知ヲ願ヒタ

イ、第一條「當分ノ内」ト云フ字ハ衍字デゴザイマス、デ是ハ先ニ發行ノコトヲスル期限ヲ定メテアリマスカラ玆ニ「當分ノ内」ト云フ字ハ無イ方ガ勿論宜イノデアリマス、是ハ全ク「當分ノ内」ト云フ字ハ衍字デゴザイマス、ソレカラ附則ノ「本法ハ明治三十七年八月一日ヨリ施行ス」トアリマスカラ、是ハ先例ニ據ルト斯ウ云フ所ニハ附則ト雖モ條ヲ附ケルノガ宜イノデアリマスカラ之ヲ第十條トシ、サウシテ此文章ノ中ノ「本法ハ明治三十七年八月一日ヨリ施行ス」ト云フノハ「之ヲ施行ス」ト云フノガ先例デアリマスカラ、サウ致スベキデアリマスカラ正誤イタシマス、尙ホ其次ニ「本法ニ依ル債券ノ發行ハ非常特別稅法施行中ニ限ルモノトス」ト云フノモ「第十一條」ト云フ字ヲ加ヘルノデアリマス、サウ御承知ヲ願ヒタイ、ソレデ二條ハ唯「勸業」ト云フ字ヲ削リマシタダケ、三條ハ「但シ」以下ノ所ノ主意ヲ改メテ「割増額一箇ノ金額ハ券面金額ノ百倍以内トス」是ハ制限ヲ附ケテ置イタ方ガ宜カラウ、勿論原案デアリマシテモ自ラ制限ハアルノデアリマスケレドモ、ソレハ政府ノ意思デ極ル譯デアアルカラ玆ニハ明ニ法文ヲ以テ百倍以内ト云フコトヲ極メテ置イタ方ガ宜カラウト云フ主意カラ斯ウ修正ナスル、四條五條六條七條八條共ニ「勸業」ト云フ字ヲ削リマシタ、サウシテ第九條ヲ加ヘテ「貯蓄債券ノ發行額ハ一箇年三千萬圓ヲ以テ限トス」是モ貯蓄債券ヲ際限ナク發行スルト他ノ事ニ差響クト云フヤウナ嫌モアルカノヤウナ説モ承リマスノデ、此一箇年三千萬圓ト云フ限度ヲ付ケタ方ガ宜カラウト云フ積リデ此第九條ヲ新ニ加ヘタ、附則ノ「本法ニ依ル債券ノ發行ハ非常特別稅法施行中ニ限ルモノトス」是ハ原案デゴザイマシテモ政府ノ理由書ニ此通りノ意味ガ述ベテアリマスガ、斯ウ云フ事柄ハ法律ヲ以テ規定シテ置イタ方ガ至當デアラウト云フ考カラ斯様ニナリマシタノデゴザイマス、右ノ主意デ大體ノ主意ニ於テハ一向變ルコトハゴザイマセヌガ、此提出者等ノ意見ハ斯ノ通りデアリマスカラ宜シク御贊成ヲ願ヒマス

○男爵毛利五郎君 私ハ此修正案ヲ提出サレタ方ニ質問シタウゴザイマスガ第三條ノ割増金ノ最高額ヲ百倍以内トスルト云フノハ是ハ如何ナル譯デ百倍ト云フコトヲ御極メニナリマシタカ、ソレニ付テ御説明ヲ願ヒマス

○男爵小澤武雄君 御答ヲ致シマスガ、其百倍以内ハ如何ナル主意デ百倍トナッタカト仰ッシャルノデゴザイマスガ

○男爵毛利五郎君 左様デゴザイマス

○男爵小澤武雄君 ソレハ別ニ主意ト云フモノハゴザイマセヌガ、大概百倍ト云フ位ヲ限度トシテ宜シカラウト云フ者ヘデゴザイマス

○谷森眞男君 私モ此修正案ノ提出者ニ質問ヲ致シマス、唯今毛利男爵ヨリ質問ノアリマシタ續デゴザイマスガ、券面金額ノ百倍以内ト申シマス即チ委員會ニ於キマシテ最モ此點ニ於テ私ハ不同意ヲ申シタ積リデ、百倍ト申シマス五圓ヲ以テ五百圓マデノ籤ニ當ルト云フコトニナリマス、其通りデゴザイマスカ

○男爵小澤武雄君 其通りデゴザイマス

○子爵錦織教久君 修正案ニ賛成イタシマス

○子爵曾我祐準君 定規ノ賛成者ガ出來テ居ルト云フ先刻御宣告デゴザイマシタガ、モウ此案ニ付テ賛成ヲ申ス必要ハ無いノデゴザイマセウカ、修正案ガ成立ツ爲ニ……玆ニ御配付ニナッタノハ提出者五人ノミ書イテアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 議長ノ手許ニ參ッテ居ルノハ定規ノ賛成ガアルノデアリマスカラ議場デ其爲ニ賛成ノ意ヲ表スルニハ及バナインデゴザイマス
○谷森眞男君 私ドモガ受取りマシタ案ニハ定規ノ賛成者ガゴザイマセヌカラ其賛成者ノ氏名ヲ承リタウゴザイマス

〔太田書記官朗讀〕

男爵船越 衛君 男爵寺島 秋介君 木下 廣次君

伯爵坊城 俊章君 高崎 親章君 宮島 誠一郎君

巖谷 修君 岡村 喜萬太君 山田 卓介君

男爵石黒 忠恵君 高木 豐三君 穂積 八束君

男爵沖 守 固君 森 山 茂君 馬屋原 二郎君

奥山 政敬君 南郷 茂光君 男爵北垣 國道君

木梨精一郎君 折田 平内君 兒玉 利國君

男爵榎 取 素彦君 高木 兼寛君

○男爵毛利五郎君 私ハ此第三條ノ割増金ノコトニ就テ此百倍ト云フコトヲ修正シテ「五十倍以内」ト云フコトニ致シタイト思ヒマス、實ハ此勸業債券ノ委員會デハ非常ニ反對ヲ唱ヘタ、併ナガラ委員會ノ節ニ否決トナリマシタガ尙ホ段々其中ニ昨日モ延期サレマシテ今日又斯ウ云フコトニナッテ第一讀會モ濟ムト云フ姿デゴザイマスカラ、自分ノ意見ヲ提出シテ申上ゲタイト思ヒマシタケレドモ、迎モソレハ中々御採用ハムツカシイト思ヒマスカラ、唯此

修正案トシテ、成ルベク私ノ意見トシ ハ此貯蓄債券ニ非常ナ效力ヲ持タセタクナイト云フ者デゴザイマスカラ、是ハ百倍トシテ、サウシテ非常ナル僥倖心ヲ起サセルト云フコトハ宜クナイダラウト思ヒマスカラ、出來ルナラバ五十倍ト云フコトニ修正ヲ致シタイト思ヒマス、其理由ハ他デハゴザイマセヌガ、彼ノ勸業銀行ノ債券二十圓ノ債券ニ對シテ最高額ノ割増ト云フモノハ千圓ニナッテ居リマス、今之ヲ其以上ニシテ百倍即チ五圓ニ對シテ五百圓ト云フ割増金ヲ出スト云フコトハ非常ナ僥倖心ヲ起サシテ全ク一方ノ二十圓ノ募集ガ無クナルノデアリマスカラ、ドウモ此百倍ト云フノハ餘リ酷イ、尙ホ政府ハ二十圓券デハ零碎ノ金ガ集マラヌト云フナラ五圓ト云フ零碎ノ金ヲ集メルモ宜イガ、サウ非常ナ割増金ハ付ケナクテモ宜カラウト思ヒマス、尙ホ私ハモウ少シ申上ゲタイコトガゴザイマスケレドモ、此際申上ゲマシテモ却ッテ色々混雜ナスルダラウト思ヒマスカラ、唯此百倍ト云フコトヲ五十倍以内ト云フコトニ修正シタイト云フ意見ヲ提出シマス、實ハマダ定規ノ賛成者ガアリマセヌガ、若モ私ノ意見ニ御同意ト云フナラバ、是ハ全ク否決シタイト云フ考デハゴザイマシタケレドモ、今ハ已ムヲ得ヌ次第デゴザイマスカラ、成ルベク此案ヲシテ非常ナ效力ヲ持タセタクナイ、非常ナ效力ヲ持タセタクナイト云フコトハ委員會デモ述ベマシタ通り非常ナ僥倖心ヲ起サセ又經濟上紊亂ヲ免レヌト思フノデスガ併ナガラ今斯ウナリマシタ以上ハサウ云フコトヲ言フ時デモゴザイマスマイカト思ヒマスカラ、此百倍ト云フコトヲ五十倍ト云フコトニ修正イタシタイト思ヒマス、ドウゾ定規ノ賛成ヲ得テ成立シ、尙ホ諸君ノ御賛成ヲ願ヒマス

○谷森眞男君 毛利男爵カラ修正案ガ出マシタガ、私ハ前回……

○議長(公爵徳川家達君) 谷森君ハ修正ニ就テノ御意見デスカ

○谷森眞男君 ハイ

○議長(公爵徳川家達君) マダ成立タナイノデゴザイマスカラ……

○谷森眞男君 イエ、賛成ヲ致シマスル意見ヲ述ベマス

○議長(公爵徳川家達君) 左様デスカ

○谷森眞男君 全體此案ニ就テハ私ハ否決ノ主意ヲ探ッテ居リマシタケレドモ今日ノヤウナ大勢ニ於キマシテハ最早成立タヌヤウニ考ヘマス、然ラバ唯今毛利男爵ノ言ハレマシタ修正案ニ賛成イタシマス

○男爵尾崎三良君 本案ハ委員會デ多數デ以テ否決ニナッタ案デゴザイマス

ガ、今日ハ圖ラズ是ガ又盛返ッテ來タヤウナ譯デアリマスガ、本員モ實ハ其反對ノ方ノ一人デアリマシタ所ガ、昨日議事日程ヲ御延シニナッテ今日ニナッタト云フノハドウカ段々政府ノ側カラ手ヲ回サレテ、丁度ソレガ爲ニ形勢ガ變ッテ來タ、中々其藥ト云フモノハ能ク利イタモノト見エテ非常ニ變ッテ參ッダ、ソレ故ニ私ハ別段意見ハ述ベマセヌガ、大體此案ガ良クナイト云フ精神デアリマシタ、所ガ今度修正案ガ出來マシテ其修正案ヲ見マスルト五十歩百歩デ格別之ガ爲ニ此案ガ宜クナッタトモ見エナイ、畢竟此修正案ト云フモノハ此反對者ノ頭ヲ幾ラカゴマカシテ是ナラ宜カラウト云フ口實ヲ與ヘルカ、幾ラカソレニ迷ハセル爲ノ修正案ト私ハ認メル、モウ五十歩百歩ト見ル以上ハ衆議院デ既ニ議決ニナッタモノナ更ニ此所デ少シ變ヘテ今日限リニナッテ居ル此切迫ノ際ニ衆議院ト協議ナスルトカ何トカ云フヤウナ餘地ガ無い、此場合ニ原案ノ主意ガ既ニ二讀會ニ移ルト云フコトニナッタ以上ハ此原案通りニシテ御通シニナッタ方ガ至極宜カラウト思フ、此修正案ト云フモノハ精神カラ斯ウナレバ大變良クナル惡イモノガ良クナルト云フノデハナイ、唯之ヲ以テ幾ラカ日ヲ延シタ主意ヲ糊塗シテ言ハバ惡ク言ヘバ、ゴマカスト云フ方デスカラ、サウ云フヤウナ精神ノ無い修正ハ寧ロセヌ方ガ宜カラウト思フ、私ハ原案ノ方ガ宜イト思ヒマスカラ、既ニ此事ガ二讀會ト云フコトニナッタ以上ハ此儘デ御通シニナルノガ宜カラウト思フ

○子爵谷干城君 私モ本ハ違フガ今ノ尾崎君ノ說ニ賛成シマス、抑銀行ガ迷惑ナスルトカ何トカ云フノハ是ハ實ニ瑣々タルコトデ、今ハ第一、増稅ヲ行ッテ、サウシテ……

〔男爵尾崎三良君「サウ言ヒ出スト尙ホ議論セニヤナラヌ」ト述ブ〕
構ハヌ、ナンボデモ言フベシ、サウシテ此増稅ヲシテ居ル間デアルカラシテ、ドウシテモカラニ爲シ得ラルル限ハ此財政ヲ回シテ行クト云フコトハ目下誰デモ考ヘテ居ルコトデ、ソレハ多少銀行家ノ迷惑スルノハ當リ前、銀行家バカリデナイ實ニ百姓ノ迷惑ナルト云フコトハ非常ナモノデ、一方ハ高稅ヲ取ラレ尙ホ一方デハソレニ増稅ヲ取ラレ、何ヲ以テ耕スコトガ出來ルカ、其迷惑ト云フモノハ實ニ非常ナモノデアアル、其非常ナモノヲ泣イテ咏ヘテ今日ノ増稅ヲ負擔スルノデアアル、其際ニ何ゾヤ此銀行ノ三ツヤ四ツ潰レタ所ガ何デモナイ、ソレデハ先ヅ今尾崎君ノ言ハレタ通り修正案ハ何ノ效力モ無い、ソレデ衆議院デ修正ナシタノモ私ハ不同意デアルケレドモ最早是ハ仕方ハ無い

此儘ドウゾグ怵ヘテ御通シニナラムコトヲ希望イタシマス

○千坂高雅君 拙者ハ……本員ハ委員ノ一人デゴザイマシテ、全體本案ニハ絶對反對シタ一人デゴザイマス、サリナガラ業已ニ本日二讀會ニ移ッテ此修正案ヲ熟讀イタシマスルト何分ドウモ修正案ハ却ッテ本案ヨリハ宜シクナイヤウニ感ジマス、ソレデ反對ハ致シタモノノ、ドチヲカト比ベテ之ヲ見マスと云フト却ッテ本案ノ方、政府案ノ方ガ優ルト考ヘマスル、此修正案ニハ絶對反對ヲ致シマスカラ、ドウカ御通シナサルナラバ尾崎男爵ノ說ノ如クナサッタ方ガ却ッテ宜カラウト考ヘマス、賛成

〔男爵尾崎三良君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 尾崎男爵ハ何デスカ

○男爵尾崎三良君 原案賛成ノ意見ヲモウ少シ敷衍イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) ドウモ一回御發言ニナリマシタカラ……

〔男爵尾崎三良君「谷子爵ノ說ニ付イテ……」ト述ブ〕

○議長(公爵徳川家達君) 二回ノ發言ハ御免ヲ蒙リマス

〔採決「ト呼ブ者アリ」〕

〔男爵尾崎三良君「谷子爵ノ說ニハ不同意デス、原案ニスルト云フコトハ賛成デスカ……」ト述ブ〕

○議長(公爵徳川家達君) 二回ノ發言ハ止メマス、モウ一遍濟ミマシタ

○村田保君 本員ハ尾崎男爵ノ說ヲ賛成スル、此法律ガ宜イカ惡イカト云フト、本員ナドモ惡法ト云フヨリ仕方ガナイ、併シ今日ハ非常ナ場合ダカラ惡法ダノ惡稅ダノト云ッテ居ル場合デナイト思ヒマスカラ、ドウゾ衆議院カラ回リマシタ通りニ、ドウゾ諸君ハ賛成ヲ願ヒタイ、私ハ貴族院ニ於テ一度否決ニナッタモノヲソレナバ引返スガ爲ニ少シバカリ文字ヲ變ヘテ通スナドト云フコトハ却ッテ私ハ卑劣ダト思ヒマス、却ッテ貴族院ノ體面ニ關スルダラウト思ヒマス、是ハドウゾ衆議院ノ儘御通シナサルコトヲ希望シマス

〔採決「ト呼ブ者アリ」〕

○議長(公爵徳川家達君) 大分採決ト云フ御聲ヲ議長ハ伺ヒマスガ、此場合ニ諸君ニ伺ッテ置キタイノハ是ハ逐條會議デアリマスカラ、一條一條デ決ヲ採ルベキガ正則デアリマセウガ、此修正說全部ヲ束ネテ問題ト致シテ宜カラウト思ヒマス、一應伺ッテ置キマス

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ全部ヲ束ネマス、修正説ヲ可トセラルル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数デアリマス、是ニ於テ二讀會ハ終リマシタカラ三讀會ヲ開キマス……二讀會決議通り御異存ハゴザイマセカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ可決セラレタモノト認メマス、是ニ於テ議長ハ諸君ニ申上ゲタイコトガゴザイマス、唯今ノ議決ノ結果ト致シマシテ此法案ハ衆議院ヘ回付ヲ致サネバナリマセヌ、衆議院ノ模様ハ豫メ議長ノ知ラザル所デアリマスカラ、衆議院ノ模様ヲ再度議場ヘ御集マリテ願フカモ知レマセヌ、諸君ニ於テ其事ヲ御承知アラムコトヲ希望シマス、一應休憩ヲ致シマス

○子爵曾我祐準君 何ヒ置キマスガ、唯今ノ御宣告デ見マスト、衆議院ノ都合ニ依ッテハ再ビ御召集ハ無イヤウデアリマスガ、矢張り下チラニシテモ一應此所ニ御呼出シニナッテ散會ヲ宣告ニナルコトト心得テ宜シゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 其積リ……

午前十一時五分休憩

午後零時四十一分開會
○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ開會ヲ致シマス、唯今政府ヨリ諸君ニ御報告ヲ致サレル件ガアルサウデ、議場ヘ御集リテ願ヒマシタ次第デゴザイマス、海軍大臣山本男爵

〔國務大臣男爵山本權兵衛君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本權兵衛君) 諸君、昨夜聯合艦隊司令長官ヨリ大本營ヘ第二回ノ旅順口閉塞ニ關係シマスルコトノ報告ヲ得マシタノデゴザイマス、電信ノ翻譯ノ都合ニ依リマシテ今日午前一時頃マデ掛リマシタ爲ニ、御上ヘ言上ノ都合モ今日午前十時半ヲ以テ始メテ報告ヲ致シマシタデゴザイマス、濟ミマスルヤ本院ニ臨ミマシテ取敢ズ御報道イタシタイト考ヘマスル、是ヨリ聯合艦隊長官ノ報道ヲ讀上グルデゴザイマス

東郷聯合艦隊司令長官報告

聯合艦隊ハ去ル二十六日再ヒ旅順口ニ向ヒ同二十七日午前三時三十分敵港閉塞ヲ決行セリ四隻ノ閉塞隊ハ驅逐隊及水雷艇隊護護ノ下ニ旅順口港外ニ達シ敵ノ探海燈ノ照射ヲ冒シテ港口ニ直進シ約二海里ニ達スル頃敵ノ發見スルトコロドナリ兩岸ノ要塞及哨艇ヨリ猛烈ナル砲火ヲ受ケシモ之ニ屈セス四隻相次テ港口水道ニ闖入シ第一ノ千代丸ハ黄金山ノ西側ニ於テ海岸ヨリ約半鏈ノ所ニ投錨爆沈シ第二ノ福井丸ハ千代丸ノ左側ヲ過テ少シク前方ニ進ミ投錨セントスルトキ敵驅逐艦ヨリノ魚形水雷一發命中シ次テ其位地ニ爆發沈没シ第三ノ彌彥丸モ福井丸ノ左側ニ出テ投錨爆沈セリ第四ノ米山丸ハ稍後レテ港口ニ達シ敵ノ一驅逐艦ノ艦尾ヲ衝突シナカラ既ニ沈没セル千代丸ト福井丸トノ間ヲ通過シ水道ノ中央ニ投錨セシトキ敵ノ魚形水雷一發ヲ受ケ爆發シ船力ノ爲メ左岸ニ近ク船首ヲ左ニシテ横ニ沈没セリ敵ノ猛烈ナル砲火ノ下ニ於テ斯ノ如ク閉塞船力勇敢沈著其任務ヲ遂行シタル事業トシテ間然スル所ナク誠ニ賞讃スルニ餘リアリ唯遺憾ナルハ彌彥丸ト米山丸トノ間ニ尙ホ空隙ヲ存シ完全ニ通路ヲ閉塞スルヲ得サリシ一事ナリトス此壯烈ナル閉塞ノ再舉ハ前回之ニ從事シタル勇士ノ切願ヲ容レ將校及機關士ハ主トシテ前回ノ者ヲシテ之ニ任セシメ下士以下ノミハ新志願者ヲ以テ交代セシメタリ閉塞隊員中戰死中佐廣瀨武夫、兵曹長杉野孫七外下士卒二名、重傷中尉島田初藏、輕傷大尉正木義太、大機關士栗田富太郎外下士卒六名ニシテ其他ハ悉ク無事我カ水雷艇隊驅逐隊ニ收容サレタリ戰死者中福井丸ノ廣瀨中佐及杉野兵曹長ノ最後ハ頗ル壯烈ニシテ同船ノ投錨セントスルヤ杉野兵曹長ハ爆發藥ニ點火スル爲メ船艙ニ下リシ時敵ノ魚形水雷命中シタルヲ以テ遂ニ戰死セルモノノ如ク廣瀨中佐ハ乗員ヲ端舟ニ乗移ラシメ杉野兵曹長ノ見當ラサル爲メ自ラ三タヒ船内ヲ搜索シタルモ船體漸次ニ沈没海水上甲板ニ達セルヲ以テ止ムヲ得ス端舟ニ下リ本船ヲ離レ敵彈ノ下ヲ退却セル際一巨彈中佐ノ頭部ヲ撃チ中佐ノ體ハ一片ノ肉塊ヲ艇内ニ殘シテ海中ニ墜落シタルモノナリ中佐ハ平時ニ於テモ常ニ軍人ノ龜鑑タルノミナラス其最後ニ於テモ萬世不滅ノ好鑑ヲ殘セルモノト謂フヘシ閉塞隊員ノ掩護收容ニ就テハ直接其任ニ當リシ水雷艇隊最モ其力ヲ盡シ天明過クル迄敵ノ砲火ニ曝露シテ其任務ヲ遂行セリ就中蒼鷹、燕ノ二艇ハ閉塞船隊ヲ護衛シテ港口ヨリ約一海里ニ達シ敵ノ驅逐艦一隻ト會戰シ多大ノ損害ヲ加ヘ敵ハ汽罐ヲ破裂サレタルモノノ如ク盛ニ蒸氣ヲ吹カシツツ退却

セリ閉塞隊ノ端舟ヲ港外ニ退却スルトキ目撃スル所ニヨレハ敵艦ト認ムヘキモノ黃金山下ニ於テ全ク進退自由ヲ失ヒタルモノノ如クナリシト云フ
我水雷艇隊驅逐隊ハ天明過クル迄熾ナル敵ノ砲火ヲ蒙リシニ拘ラス寸毫モ損傷ナシ閉塞隊員ノ收容ハ千代丸及彌彦丸ノ乗員ハ燕ニ米山丸乗員ハ端舟三隻ニ分乗シテ鵠、雁ニ收容サレ福井丸ノ乗員ハ霞ニ收容サレタリ

以上ノ報告ハ聯合艦隊司令長官ノ報告デゴザイマス、聊カ此内容ニ就イテ一言敷衍シテ諸君ニ御紹介ヲ致シタイト考ヘマス、已ニ閉塞事業ハ今回ガ第二回デゴザイマス、曩ニハ五隻ノ商船ヲ以テ之ニ充テ今回ハ四隻ヲ以テ之ニ充テ合計九隻ニナリマス、誠ニ多大ナ金額ヲ此閉塞ノ爲ニ捨テタト云フコトデアリマス、之ニ付キマシテ、作戰上最モ慎重ナル考慮ヲ以チマシテ此旅順口ニアリマスル所ノ敵艦ヲシテ聊カ力ナキマデニ至ラシメタイト云フ考ニ外ナラヌノデアリマス、幸ニ此度敵將マカロフ中將ハ有名ナル人デアリマスルガ爲ニ破損ヲ受ケマシタル是マデノ船ヲ修繕シツツ稍前ヨリ見ルベキ舉動ヲナサレツツアルノデゴザイマス、幸ニ港外ニ出テ帝國ノ艦隊ト邂逅イタシマシテ一タビ決戰ヲ試ミマシタナラバ此勝敗ハ寸時ニシテ何レカニ結果ヲ見ルコトデアリマセウト思ヒマス、是偏ニ本官等ノ切ニ希望イタシマス所デアリマス、然レドモ之ニ反シテ敵ハ唯要塞掩護ノ下ニ僅ニ數十里以內前方三十里或ハ其左右幾十里、僅カ一時間乃至二時間港外ニ出テ忽チニ港内ニ潜伏スルノ働ノ外ハ爲サヌコトノヤウニ思ハルノデゴザイマス、然レドモ尙ホ前途ニ於テハ大ニ考テ回ラシテ我艦隊ト決戰ヲ試ミル時期モ將ニ近キ中ニアラムコトヲ偏ニ望ムデ居リマス、然ラバ帝國ノ艦隊ハ一意専心、出デザレバ彼ノ港口ヲ閉塞シ出レバ之ニ向ッテ幸ニ快戰ヲ試ムルト云フコトヨリ先ヅ手段ハ無イノデアリマス、之ニ付キマシテハ、昨日モチヨット豫算總會ニ於キマシテ陳述イタシテ置キマシタガ、中々此港口ノ閉塞及直接封鎖ノ如キハ容易ナラヌ事業デゴザイマシテ、世界海軍到ル所之ニ向ッテ平素ノ演習ト云ヒ殊ニ實戰ニ於キマシテハ多大ナル艱難ヲ嘗メナケレバナラヌ、未ダ戰ノ初期ニ於キマシテ何等諸君ニ向ッテ將來ノ希望ト之ニ對スル所ノ順序等ヲ御報告ヲ致スノ運ビニ至リマセヌガ、一意専心我帝國ノ將校下士卒ハ國家危急ノ場合ニ際シマシテ出デテ大旨ヲ奉シ成ルベク早ク此目的ヲ收メムコトノミ日夜期待イタシテ居ル譯デアリマス、又今回貴衆兩院へ提出イタシマシタ多大ナル法律案、之ニ對シテ總テ豫算等ニ就キマシテモ舉國一致ヲ以テ其實ヲ舉ゲラレタト云

フコトハ、重ネテ出征軍人ガ之ヲ聞キマシタナラバ尙ホ益々士氣ヲ奮勵シテ宜シク其事ニ從ヒ忍耐以テ終局ノ目的ヲ收メムコトハ諸君ト共ニ日夜期待シテ已マザル次第デアリマス、此段併セテ御報告ヲ兼テ御挨拶イタシテ置キマス

〔拍手起ル〕

○議長(公爵德川家達君) 是ニ於テ再ビ休憩ヲ致シマス

午後零時五十五分休憩

午後二時十分開會

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ報告イタシマス

〔小原書記官朗讀〕

本日衆議院ヨリ左ノ通牒ヲ受領セリ

貯蓄債券法案

右貴院ノ回付ニ係ル政府提出案本院ハ貴院ノ修正ニ同意シ奏上セリ因テ議院法第五十五條ニ依リ及通知候也

明治三十七年三月二十九日

衆議院議長松田正久

貴族院議長公爵德川家達殿

○子爵曾我祐準君 本員ハ此際一ノ動議ヲ提出イタシタウゴザイマス、ソレハ今演壇ニ登ルコトヲ御許シガアレバ演壇ニ登リマシテ動議ノ趣意ヲ陳述イタシマス、宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 唯今曾我子爵ヨリ緊急動議ヲ提出セラルコトヲ述ベラレマシタガ、贊成ト云フ御聲ヲ承リマセヌガ……

〔贊成〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 無論御同意ノコトト見テ宜シウゴザイマスカ

〔贊成〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ曾我子爵ノ御登壇ヲ願ヒマス

〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君 諸君、本員ハ本議會ノ終ニ臨ミマシテ一ノ決議案ヲ提出イタシマス、ソレハ他ノ儀デハゴザイマセヌガ、日露開戰以來既ニ二箇月ニ近クナリマシテ此間ニ海軍ノ勝報屢々到リ我日本人ハ實ニ之ガ爲ニ雀躍欣喜之ニ過ギヌ次第デアリマス、然ルニ又先刻此席ニ於テ海軍大臣ハ第二回ノ旅順口閉塞ノ結果ノ公報ヲ御述ベニナリマシタ、實ニ此勇壯ナル我海軍ノ動作

ト申スモノハ實ニ世界ニ類例ノ少イコトデアラウト考ヘマス、一回ノ閉塞デハ十分ノ效果ヲ奏セズ一回ノ攻撃ニ付テ敵ハ十分此事ニ付テ注意シテ居ルノデアル、然ルニモ拘ラズ又同様ノコトヲ再ビスルコトハ尙ホムヅカシイコトト存ジマス、實ニ我が乗テ居ル船ハ敵ノ砲臺ノ前並ニ軍艦ノ前、敵ノ十分設備ノアルト云フコトハ申スマデモナク度クノ試験ニテ實驗シテ居ル、又同シ人達ガ又同ジコトヲ繰返シテ又其所ニ船ヲ持ッテ行ッテ五艘マデモ沈メ未ダ全キナ期スル程ノ成效ハ無キニモセヨ大ニ今度ハ好結果ヲ奏シタ趣ニ承リマス、實ニ忠勇武烈ノ舉動ト云フモノハ蓋シ海軍アリシヨリ以來殆ド類例ノ少イコトデアラウト吾々ハ實ニ感服ニ堪ヘナイ次第デアリマス、幸ニ陛下ノ御稜威ニ依リマシテ多クノ將士ニ怪我モ無イ趣デアリマスガ、中ニ就テ廣瀬中佐……海軍中佐廣瀬武夫、此人ハ初ヨリ此事ヲ擔當セラレテ居リマシタサウデアリマスガ、此度ハ惜ムベシ遂ニ戰死ヲ遂ゲラレマシタ、此日本海軍ノ無比ナル忠烈勇壯ノ舉動ヲ頌シマスルト同時ニ此光榮アル戰死ヲ遂ゲラレタ人々ニ哀悼ノ誠意ヲ表シタイト思ヒマス、茲ニ一ツノ成案ガゴザイマスカラ之ヲ朗讀イタシマス

帝國海軍ノ旅順口第二回閉塞ニ關スル公報ニ接シ貴族院ハ其ノ忠烈壯勇ノ動作ヲ頌シ同時ニ光榮アル戰死者ニ對シ深ク哀悼ノ意ヲ表ス

ドウカ満場一致ヲ以テ御贊成アラムコトヲ希望イタシマス

〔贊成〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵徳川家達君) 唯今曾我子爵ノ述ベラレマシタ通り決議ヲ致スト云フコトニ御同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

總員起立

○議長(公爵徳川家達君) 全會一致ト認メマス

〔國務大臣男爵山本權兵衛君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵山本權兵衛君) 唯今曾我子爵ヨリ決議案ノ動議ヲ提出セラレマシテ満場一致ヲ以テ可決セラレマシタゴザイマスルガ、此決議ニ對シマシテ私ハ一言御挨拶ヲ申上ゲタイト存ジマス、今ヤ敵ニ相對シテ具サニ出征シツツアリマスル所ノ聯合艦隊ノ將校下士卒ガ此貴族院ニ於キマシテ斯ノ如キ鄭重ナル決議ヲ聞キマシタナラバ眞ニ感激ノ情ニ堪ヘマセヌコトト思ヒマス、本大臣ハ直チニ此趣ヲ通ジマシテ諸君ノ御熱誠ナルコトヲ知ラシメマスルノハ非常ニ光榮ト致シマス次第ゴザイマス、願フニ開戦以來海軍ハ

作戰其宜シキヲ得マシテ殆ド敵ノ機先ヲ制シ敵ノ氣勢ヲ挫キ戰捷ヲ重ネマスルノヲ見マシタノハ諸君ト共ニ感佩ノ至ニ堪ヘマセヌ、是ハ恐レ多クモ大元帥陛下ノ御稜威ニ依リマスルコトナガラ又國民ノ忠實熱誠ナル後援及我將校下士卒忠勇義烈ノ熱誠ニ依リマシテ始メテ此效果ヲ收メツツアルコトモ亦諸君ト共ニ疑ハサル次第ゴザイマス、サテ前途尙ホ十分ノ考慮ト堅忍ノ實行トヲ要セネバナラヌコトト思ヒマス、我將校下士卒其事ニ從ヒマシテ益々奮勵以テ終局ノ目的ヲ收メムコトヲ諸君ト共ニ期待シテ已マザル次第ゴザイマス、終ニ臨ミマシテ本大臣ハ政府ヲ代表イタシ諸君ニ對シ深ク感謝ノ意ヲ表彰イタシマス

〔拍手起ル〕

○議長(公爵徳川家達君) 今日ハ散會

午後二時十九分散會